

令和6年10月分の総合解析評価結果 第38週(9/16)～第41週(10/13)

10月になっても暑い日が続き、18日に真夏日が観測された。10月後半の真夏日は県内では73年ぶりの出来事であった。しかし朝晩は肌寒い日もあり、夏と秋が混在している印象である。アメリカでは大型のハリケーン「ミルトン」がフロリダ州に上陸し、大きな被害をもたらした。

国会は自民党の石破新総理により10月9日解散、27日総選挙の運びとなった。また、日本原水爆被害者団体協議会が日本として半世紀ぶりのノーベル平和賞受賞に決定した。スポーツの秋としては国体改め「国スポ」が開催されたほか、日米のプロ野球がポストシーズンに入り、MLB ドジャーズの大谷選手が依然として話題を独占している。

感染症については、比較的落ち着いた推移の1か月であった。

その中で唯一目立っているのがマイコプラズマ肺炎で、県内の小児科定点医療機関において広く検出されている。8年ぶりの全国流行であり、最新のデータでは現行調査方法となった平成11年以降最も多い状況となっている。先月は県東部の流行が目立っていたが今月は全県で多発している。全国的なトピックとしては、埼玉県において麻疹の発生が継続していること、デング熱の国内感染を疑う症例が発生したこと、また、北海道の農場において、鳥インフルエンザ(H5N1亜型)の感染が確認されたことが挙げられる。

COVID-19は、全国データでは9月に入ってから7週連続で減少しており、山口県も同様である。最新の41週で全国の週定点当たりの発生数は2.38であり、最多の北海道でも3.96にとどまっている。山口県は1.34である。昨年は下がり止まって冬に向け上昇に転じたが、今年の動きが注目される。それを左右する要素の一つである予防接種については10月1日から今年度分のワクチン接種が3月末までの期間を設定して始められたが、65歳以上の定期接種対象者(県内では2,100円負担)以外は、15,000円前後の負担になる場合が多い。レプリコンワクチンに対する不当なバッシングも社会現象となっており、今後の動きに注意が必要である。

インフルエンザは、集団発生報告が散見されるものの昨年のような急上昇の兆しはまだ見られない。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎が依然例年より多めの推移である。

手足口病は一時再増加がみられた。原因ウイルスがコクサッキーA6から同A16に、さらにエンテロウイルスA71へと代わっていったん上昇したものとみられるがその後は減少に転じている。

その他ヘルパンギーナ、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルスなど、ほぼ流行は見られなくなっている。

インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点(週報)(第38～41週)

インフルエンザ:122人、新型コロナウイルス感染症:638人、RSウイルス感染症:38人、咽頭結膜熱:14人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:390人、感染性胃腸炎:403人、水痘:8人、手足口病:1,506人、伝染性紅斑:2人、突発性発疹:57人、ヘルパンギーナ:89人、流行性耳下腺炎:6人、流行性角結膜炎:7人、細菌性髄膜炎:0人、マイコプラズマ肺炎:34人、無菌性髄膜炎:0人、感染性胃腸炎(ロタウイルス):0人

STD 定点及び基幹定点(月報/9月)※梅毒等の全数把握STDを除く(全数に記載)

性器クラミジア感染症:28人、性器ヘルペスウイルス感染症:13人、尖圭コンジローマ:6人、淋菌感染症:12人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:28人、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:0人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第38～41週)

カンビロバクター腸炎:6人、病原大腸菌腸炎VT(+):5人、病原大腸菌腸炎VT(-):4人、サルモネラ腸炎:4人、ロタウイルス胃腸炎:2人、アデノウイルス胃腸炎:2人、ノロウイルス胃腸炎:15人、マイコプラズマ肺炎:303人、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎:39人、hMPV感染症:11人、ヘルペス歯肉炎:1人、川崎病:1人

1,2,3,4類及び5類(全数)感染症発生状況(第38～41週)

結核:14人、腸管出血性大腸菌感染症:11人、重症熱性血小板減少症候群:1人、レジオネラ症:2人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:3人、侵襲性肺炎球菌感染症:2人、梅毒:7人、播種性クリプトコックス症:1人、破傷風:1人、百日咳:3人

解析:感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報(9/16～10/13)

- ◆RSウイルス感染症:1名 ◆溶連菌感染症:19名 ◆感染性胃腸炎:92名 ◆手足口病:68名
- ◆突発性発疹:5名 ◆ヘルパンギーナ:7名 ◆インフルエンザA:2名
- ◆腸管出血性大腸菌感染症:3名(0-26 VT1(+))1才:男児、2才:女児、4才:男児、
1名(0-157 VT2(+))3才:女児
1名(0-157 VT2(+))3才:女児 山大入院紹介
- ◆マイコプラズマ肺炎:8名 ◆マイコプラズマ気管支炎:3名
- ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎:5名 ◆COVID-19:19名
- <SpotFireによる検出>◆ライノウイルス/エンテロ感染症:16名 ◆パラインフルエンザ感染症:2名

徳山中央病院入院患者情報 (9/21~10/20)

9月から10月にかけての入院患者はそれほど多くはなかったが、呼吸器感染症が少し増加してきた印象がある。RS、hMPV、インフルエンザ、COVID-19の入院はなかった。

- ◆手足口病：2例（2歳男児、3歳女児）
- ◆マイコプラズマ感染症：5例（気管支炎1例：13歳男児、肺炎4例：1歳女児、7歳女児、8歳男児、12歳男児）
- ◆急性腎盂腎炎：2例（3か月女児：E.coli、5か月男児：E.coli）◆川崎病：2例（2か月男児、4か月男児）
- ◆熱性けいれん：3例（3歳男児、3歳女児、7歳男児）
- ◆急性穿孔性虫垂炎：2例（11歳女児、13歳男児：いずれも保存療法成功→IAへ）
- ◆腸重積症：1例（4か月女児：ウイルス陰性）◆IgA血管炎：4例（2歳男児、4歳男児、6歳男児2例）

山口赤十字病院情報 (9/15~10/14)

- ◆RSウイルス：院内検査陽性例4名、入院計6名。先月並みか。
- ◆マイコプラズマ：迅速陽性4人。LAMP陽性4人。入院5人。流行本格化。
- ◆インフルエンザ：Aが4人、Bが1人。◆おたふくかぜ：見られず。
- ◆水痘：見られず。◆溶連菌感染症：まだ少数みられる。◆ヘルパンギーナ：目立たず。
- ◆アデノウイルス：咽頭扁桃炎2人。◆感染性胃腸炎：今月はノロ、ロタ、アデノとも0人。
- ◆手足口病：入院に至った方少数あり。◆伝染性紅斑：見られず。
- ◆hMPV感染症：入院1人。アデノと重複感染？◆流行性角結膜炎：見られず。
- ◆COVID-19：5類移行後の入院患者 累計270（10/21まで 今月8人）
- ◆川崎病：2人 1歳男児 IVIg 2クールで充分解熱せず 山大転院とした。
2歳女児 IVIg 1クールで解熱 CAL遺さず。
- ◆細菌性髄膜炎：1か月女児 9月13日入院
主訴 発熱 当初はWBC、CRP上昇なかったがNot doing well
抗菌薬開始して観察中、血液と尿からStreptococcus gallolyticus 検出
CRPも16まで上がっており、CSF 細胞数2503へ著増（抗菌薬開始後のため髄液から菌は出さず）

下関地域感染症サーベイランス (9/16~10/13)

- ◆新型コロナウイルス感染症：22例（15歳以上 16例）◆インフルエンザA：14例
- ◆ヘルパンギーナ：54例◆手足口病：370例◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：126例◆突発疹：19例
- ◆感染性胃腸炎：127例◆VT（+）大腸炎：0例◆VT（-）大腸炎：3例
- ◆カンピロバクター腸炎：3例◆サルモネラ腸炎：3例◆ロタウイルス腸炎：0例
- ◆ノロウイルス胃腸炎：5例◆アデノウイルス胃腸炎：2例
- ◆咽頭結膜熱：3例◆アデノウイルス扁桃炎：10例◆RSウイルス感染症：3例◆hMPV感染症：4例
- ◆ヘルペス口内炎：2例◆マイコプラズマ肺炎：46例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

- ◆手足口病：3例（0歳3か月~5歳7か月）◆溶連菌感染症：1例（1歳6か月）
- ◆急性腎盂腎炎：1例（0歳11か月（E.coli））◆COVID-19：1例（0歳2か月）
- ◆川崎病：1例（1歳11か月）◆急性虫垂炎：1例（11歳）◆皮下膿瘍：1例（10歳）
- ◆伝染性膿痂疹：1例（2歳11か月）◆RSV感染症：1例（1歳9か月）

岩国医療センター感染症事例 (9/16~10/13)

- ◆COVID-19：3例（内1例は皮膚筋炎免疫抑制剤使用中）
同時期成人17例
- ◆アデノウイルス咽頭炎：2例◆インフルエンザA：2例
- ◆手足口病：12例◆溶連菌感染症：8例（急性糸球体腎炎なし）
- ◆川崎病：1例（2歳）◆マイコプラズマ肺炎：8例（迅速診断例なし）

〔10月の多報告順位〕（○内数字は前月順位）

- 1) ①手足口病
- 2) ②新型コロナウイルス感染症
- 3) ③感染症感染性胃腸炎
- 4) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 5) ⑦マイコプラズマ肺炎
- 6) ⑤ヘルパンギーナ
- 7) -インフルエンザ
- 8) ⑧突発性発しん
- 9) ⑥RSウイルス感染症
- 10) ⑨流行性角結膜炎

注) 月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会で検討を行い再集計した結果を掲載しています。

1,2,3,4類及び5類(全数)感染症発生状況

区分	疾患名	第38週	第39週	第40週	第41週	2024年累計
1類感染症	エボラ出血熱					0
	クリミア・コンゴ出血熱					0
	痘そう					0
	南米出血熱					0
	ペスト					0
	マールブルグ病					0
2類感染症	ラッサ熱					0
	急性灰白髄炎					0
	結核	3	2	8	1	126
	ジフテリア					0
	重症呼吸器症候群					0
	中東呼吸器症候群					0
3類感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)					0
	鳥インフルエンザ(H7N9)					0
	コレラ					0
	細菌性赤痢					0
	腸管出血性大腸菌感染症	5	6			40
4類感染症	腸チフス					0
	バラチフス					0
	E型肝炎					0
	ウエストナイル熱					0
	A型肝炎					2
	エキノコックス症					0
	黄熱					0
	オウム病					0
	オムスク出血熱					0
	回帰熱					0
	キャサヌル森林病					0
	Q熱					0
	狂犬病					0
	コクシジオイデス症					0
	エムボックス					0
	ジカウイルス感染症					0
	重症熱性血小板減少症候群	1				9
	腎症候性出血熱					0
	西部ウマ脳炎					0
	ダニ媒介脳炎					0
	炭疽					0
	チクングニア熱					0
	つつが虫病					0
	デング熱					0
	東部ウマ脳炎					0
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)					0
	ニバウイルス感染症					0
	日本紅斑熱					7
	日本脳炎					0
	ハンタウイルス肺症候群					0
	Bウイルス病					0
	鼻疽					0
	ブルセラ症					0
	ベネズエラウマ脳炎					0
	ヘンドラウイルス感染症					0
	発しんチフス					0
	ボツリヌス症					0
	マラリア					0
	野兔病					0
	ライム病					0
リッサウイルス感染症					0	
リフトバレー熱					0	
類鼻疽					0	
レジオネラ症			1		1	21
レプトスピラ症						0
ロッキー山紅斑熱						0
5類感染症	アメーバ赤痢					3
	ウイルス性肝炎					1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2			19
	急性弛緩性麻痺(灰白髄炎を除く)					0
	急性脳炎					12
	クリプトスポリジウム症					0
	クロイツフェルト・ヤコブ病					2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					13
	後天性免疫不全症候群					7
	ジアルジア症					0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					5
	侵襲性髄膜炎菌感染症					0
	侵襲性肺炎球菌感染症			2		18
	水痘(入院例)					7
	先天性風しん症候群					0
	梅毒	2	2	3		71
	播種性クリプトコックス症		1			3
	破傷風				1	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					0
	百日咳			1	2	11
	風しん					0
麻しん					0	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					0	

2024年10月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第38週	第39週	第40週	第41週	合計
	9/16-9/22	9/23-9/29	9/30-10/6	10/7-10/13	
カンピロバクター腸炎	2	1	2	1	6
病原大腸菌腸炎 VT(+)	5	0	0	0	5
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	1	1	0	4
サルモネラ腸炎	0	2	0	2	4
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	2	2
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	1	1	2
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	6	0	5	4	15
マイコプラズマ肺炎	60	61	95	87	303
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	9	11	11	8	39
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	1	1	8	1	11

臨床診断例

	第38週	第39週	第40週	第41週	合計
	9/16-9/22	9/23-9/29	9/30-10/6	10/7-10/13	
ヘルペス歯肉口内炎	0	1	0	0	1
川崎病	0	1	0	0	1

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2024年10月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	1	0	0	2	0	0	0	3	6
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4
サルモネラ腸炎	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	3	0	1	0	2	1	0	3	5	15
マイコプラズマ肺炎	107	7	54	34	15	20	28	2	36	303
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	3	0	4	3	4	16	1	0	8	39
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	0	0	8	0	0	0	0	0	3	11

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2024年10月分週別集計表

	第38週	第39週	第40週	第41週	合計	備考
	9/16-9/22	9/23-9/29	9/30-10/6	10/7-10/13		
インフルエンザ	15	12	66	29	122	
新型コロナウイルス感染症	194	202	152	90	638	
RSウイルス感染症	7	5	10	16	38	
咽頭結膜熱	1	5	5	3	14	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98	80	86	126	390	
感染性胃腸炎	83	92	106	122	403	
水痘	2	3	1	2	8	
手足口病	439	336	342	389	1,506	
伝染性紅斑	0	0	0	2	2	
突発性発しん	15	15	11	16	57	
ヘルパンギーナ	21	18	21	29	89	
流行性耳下腺炎	2	2	1	1	6	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	3	1	2	1	7	
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	5	5	12	12	34	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	





